



## 平成 20 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況

平成 19 年 8 月 3 日

上場会社名 明治製菓株式会社 上場取引所 東証一部  
 コード番号 2202 URL <http://www.meiji.co.jp>  
 代表者 代表取締役 社長 佐藤 尚 忠  
 問合せ先責任者 お客様コミュニケーション部長 梅 本 隆 司 TEL (03)3273-3355

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第1四半期	89,364	1.5	1,625	14.0	2,233	1.7	1,252	△15.3
19年3月期第1四半期	88,003	2.2	1,425	2.1	2,196	37.7	1,478	112.8
19年3月期	393,853		12,584		12,627		5,480	

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
20年3月期第1四半期	3.30	—
19年3月期第1四半期	3.88	—
19年3月期	14.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年3月期第1四半期	339,886	162,796	46.8	419.87
19年3月期第1四半期	334,054	160,771	47.2	413.15
19年3月期	351,514	162,763	45.3	419.62

2. 平成 20 年 3 月期の連結業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日) 【参考】  
 中間期及び通期の業績につきましては、平成 19 年 5 月 15 日発表の業績予想に変更はございません。

3. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有(4ページをご参照ください。)  
 新規 1社 (社名 明治制菓食品工業(上海)有限公司)
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 (内容)法人税等の計上基準 : 有(4ページをご参照ください。)
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報等

当第1四半期の売上高は893億64百万円（前第1四半期比1.5%増）となりました。利益につきましては、原材料高騰等の影響はありましたものの、営業利益は16億25百万円（同14.0%増）、経常利益は22億33百万円（同1.7%増）、純利益は12億52百万円（同15.3%減）となりました。

当社グループのセグメント別の概況は次のとおりであります。

フード&ヘルスケア事業

フード&ヘルスケア事業の売上高は633億14百万円となり、前第1四半期(639億27百万円)に比べ1.0%減収となりました。

（菓子事業）

主力の菓子事業は、引き続き「大人市場」の活性化を図り、機能性のみならず高級・風味などをキーワードに付加価値の高い商品を発売しましたが、前第1四半期の売上をわずかに下回りました。

品目別にみますと、チョコレートは、母の日向け商品「ミルクチョコレートフラワー」や「ぶどう糖チョコレート」「リッチミルクチョコレート」など新商品が好調に推移しましたが、前年大ヒットした「チョコレート効果」の減売を補えず減収となりました。

ガムは、「キシリッシュ」の発売10周年に伴い積極的な販促活動を展開しており、その一環として5月に発売した限定商品「キシリッシュプラチナミント」も売上に寄与し、増売となりました。

キャンデーは、「果汁グミ」が前第1四半期に比べ倍増し、また、新商品の結晶グミ「KAON」も計画を上回り、大幅に伸長しました。

（健康事業）

健康事業は、新商品を投入し、品揃えの充実を図ってまいりましたが、前第1四半期の売上を下回りました。品目別では、「アミノコラーゲン」は3月にリニューアルし、ブランド価値維持のため取引条件を見直したことから、減売となりました。ザバスは、「ザバスアクアプロテイン」の発売により購入層の拡大を図り、大幅に伸長しました。

一般用医薬品の「イソジンうがい薬」は、医薬部外品のうがい薬との競争が激化する中、前第1四半期並の売上を確保しました。

（海外事業）

輸出は、米国への販売が「ヤンヤン」を中心に大きく伸長するとともに、台湾・韓国・シンガポール・香港等への販売も堅調に推移し、前第1四半期を上回りました。輸入は、クラフト社のコートドールを中心とした高級チョコレートが減売となり、前第1四半期を下回りました。

（業務用食材事業）

製菓材（チョコレート・ココア関連製品）は、外食チェーン・コンビニエンスストア・テーマパークへの

積極的な商品提案により、前第 1 四半期の売上を上回りました。食材は、農産や冷凍果実果汁が順調に売上を伸ばしたことで、増売となりました。

#### (連結子会社)

国内連結子会社の株式会社明治フードマテリアは、糖化穀粉事業の伸長により、また、株式会社明治スポーツプラザは、M&A により千葉県内に新たに 3 店舗を取得したことなどにより、それぞれ増収となりました。

海外連結子会社の明治製菓シンガポール社は、東南アジア・米国を中心に主力の「ヤンヤン」「ハローパンダ」が伸長しました。米国スタウファー・ビスケット社は、ウォルマート向けの売上が順調に推移しましたが、OEM品の受注減により減収となりました。新たに連結子会社となりました明治制菓(上海)有限公司、明治制菓食品工業(上海)有限公司は、上海地区を中心に販路を拡大し、着実に事業を展開しております。

### 薬品事業

薬品事業の売上高は 252 億 89 百万円となり、前第 1 四半期(233 億 55 百万円)に比べ 8.3%増収となりました。

#### (医療用医薬品事業)

医療用医薬品は、主力の抗菌薬「メイアクト」が、経口セフェム系市場が縮小する中、きめ細やかな学術普及活動と積極的な営業活動により、大幅に売上を伸ばしました。また、抗うつ薬「デプロメール」も好調に推移しました。ジェネリック品(後発医薬品)は、抗菌薬「バンコマイシンMEEK」の好調に加え、昨年 7 月以降に発売した製品の売上が寄与し、大幅に伸長しました。なお、今期も 7 月に 5 製品を新たに発売しました。

#### (農薬・動物薬事業)

農薬は、いもち病防除剤「オリゼメート」が、いもち病の発生が少なかったために前第 1 四半期の売上を下回り、減売となりました。動物薬は、家畜用薬、コンパニオンアニマル用薬、水産用薬ともに堅調に推移し、前第 1 四半期並みの売上を確保しました。

#### (海外事業)

主力の「メイアクト」が発売国の増加等により大幅に売上を伸ばし、加えて欧州を中心に抗菌薬「ミオカマイシン」「メデマイシン」、抗悪性腫瘍剤「ドキシソルビシン」等が好調に推移し、増売となりました。

#### (連結子会社)

国内連結子会社の北里薬品産業株式会社は、はしかの流行により麻しんおよび MR ワクチンが大幅に増売となり、また、予防接種法の再改正により販売再開となった日本脳炎ワクチンも寄与し、全体で増売となりました。

海外連結子会社の東南アジアの P. T. メイジ・インドネシア社およびタイ・メイジ社は、「メイアクト」「コリスチン」を中心に好調に売上を伸ばしました。また、スペインのテデック-メイジ・ファルマ社は、「メイアクト」「アダント」等の輸出の増加により、増売となりました。

## ビル賃貸事業他

ビル賃貸事業他の売上高は7億59百万円となり、前第1四半期(7億20百万円)に比べ5.4%増収となりました。

主力のオフィスビル「ソリッドスクエア」は、賃料の増額改定に加え、既存テナントの増床により入居率が更に改善したことが奏効し、順調に推移しました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報等

当第1四半期末の総資産は、前連結会計年度末に比べ116億28百万円減少し、3,398億86百万円となりました。負債は、前連結会計年度末に比べ116億60百万円減少し、1,770億90百万円となりました。純資産は、前連結会計年度末に比べ33百万円増加し、1,627億96百万円であり、自己資本比率は、46.8%となりました。

## 3. その他

### (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規1社：明治制菓食品工業（上海）有限公司

明治制菓食品工業（上海）有限公司は、重要性が増加したことにより、当期より連結の範囲に含めております。

### (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の計上基準・・・子会社においては法定実効税率をベースとした年間予測税率により計算しております。

### (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

該当事項はありません。

4. (要約) 四半期財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結貸借対象表

(単位：百万円)

科 目	前第1四半期 (平成18年6月30日現在)		当第1四半期 (平成19年6月30日現在)		前連結会計年度 (平成19年3月31日現在)		増 減
	金 額	構成比率(%)	金 額	構成比率(%)	金 額	構成比率(%)	金 額
<b>資 産 の 部</b>							
I 流 動 資 産							
現金及び預金	10,810		9,595		14,773		△ 5,178
受取手形及び売掛金	67,756		70,795		84,365		△ 13,570
たな卸資産	47,580		46,727		43,180		3,547
その他	11,106		12,167		10,137		2,030
流動資産合計	137,253	41.1	139,284	41.0	152,457	43.4	△ 13,173
II 固 定 資 産							
有形固定資産	136,870		141,480		137,041		4,439
無形固定資産	6,279		7,043		7,260		△ 217
投資その他の資産	53,651		52,077		54,754		△ 2,677
固定資産合計	196,800	58.9	200,601	59.0	199,057	56.6	1,544
資 産 合 計	334,054	100.0	339,886	100.0	351,514	100.0	△ 11,628
<b>負 債 の 部</b>							
I 流 動 負 債							
支払手形及び買掛金	27,304		32,334		34,902		△ 2,568
短期借入金	21,772		19,851		21,297		△ 1,446
社債(1年以内償還)	-		20,000		20,000		-
コマーシャルペーパー	2,000		5,000		4,500		500
未払費用	10,995		10,935		13,414		△ 2,479
その他	13,833		17,972		21,385		△ 3,413
流動負債合計	75,906	22.7	106,093	31.2	115,498	32.9	△ 9,405
II 固 定 負 債							
社債	40,000		20,000		20,000		-
長期借入金	17,143		16,787		17,130		△ 343
退職給付引当金	21,505		14,449		16,504		△ 2,055
その他	18,727		19,761		19,616		145
固定負債合計	97,376	29.2	70,997	20.9	73,251	20.8	△ 2,254
負 債 合 計	173,282	51.9	177,090	52.1	188,750	53.7	△ 11,660
<b>純 資 産 の 部</b>							
I 株 主 資 本							
資本金	28,363	8.5	28,363	8.3	28,363	8.1	-
資本剰余金	34,948	10.5	34,949	10.3	34,949	9.9	0
利益剰余金	78,506	23.5	80,645	23.7	81,173	23.1	△ 528
自己株式	△ 2,241	△ 0.7	△ 3,498	△ 1.0	△ 3,485	△ 1.0	△ 13
株主資本合計	139,577	41.8	140,459	41.3	140,999	40.1	△ 540
II 評 価 ・ 換 算 差 額 等							
その他有価証券評価差額金	18,182	5.4	16,934	5.0	17,245	4.9	△ 311
繰延ヘッジ損益	244	0.1	1,454	0.4	816	0.3	638
為替換算調整勘定	△ 488	△ 0.1	344	0.1	44	0.0	300
評価・換算差額等合計	17,937	5.4	18,733	5.5	18,107	5.2	626
III 少 数 株 主 持 分	3,255	0.9	3,603	1.1	3,656	1.0	△ 53
純 資 産 合 計	160,771	48.1	162,796	47.9	162,763	46.3	33
負 債 純 資 産 合 計	334,054	100.0	339,886	100.0	351,514	100.0	△ 11,628

(注) 増減は当第1四半期と前連結会計年度との比較で表示しております。

## (2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別	前第1四半期		当第1四半期		前連結会計年度	
		自 平成18年4月 1日 至 平成18年6月30日	金 額	百分比(%)	自 平成19年4月 1日 至 平成19年6月30日	金 額	百分比(%)
I 売 上	高	88,003	100.0	89,364	100.0	393,853	100.0
II 売 上	原 価	50,089	56.9	52,065	58.3	220,992	56.1
売 上	総 利 益	37,914	43.1	37,298	41.7	172,860	43.9
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		36,488	41.5	35,672	39.9	160,276	40.7
営 業 利 益		1,425	1.6	1,625	1.8	12,584	3.2
IV 営 業 外 収 益							
受 取 利 息 及 び 受 取 配 当 金		688		641		943	
雑 収 入		416		331		1,766	
持 分 法 に よ る 投 資 利 益		10		19		112	
営 業 外 収 益 合 計		1,115	1.3	991	1.1	2,822	0.7
V 営 業 外 費 用							
支 払 利 息		304		324		1,313	
雑 損 失		41		59		1,465	
営 業 外 費 用 合 計		345	0.4	384	0.4	2,778	0.7
経 常 利 益		2,196	2.5	2,233	2.5	12,627	3.2
VI 特 別 利 益		135	0.1	176	0.2	1,290	0.3
VII 特 別 損 失		18	0.0	49	0.1	2,810	0.7
税 金 等 調 整 前 四 半 期 ( 当 期 ) 純 利 益		2,313	2.6	2,360	2.6	11,108	2.8
法 人 税 等		738	0.8	1,037	1.1	5,157	1.3
少 数 株 主 利 益		96	0.1	70	0.1	470	0.1
四 半 期 ( 当 期 ) 純 利 益		1,478	1.7	1,252	1.4	5,480	1.4